

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒澤大学	10	1	2	28	10	+18	32
2	流通経済大学	9	1	3	30	11	+19	30
3	法政大学	8	5	0	24	19	+5	24
4	早稲田大学	6	3	4	23	16	+7	22
5	明治大学	5	4	4	24	13	+11	19
6	東京学芸大学	4	7	2	11	9	2	18
7	中央大学	5	6	2	12	23	-11	17
8	国士舘大学	4	4	3	21	20	+1	15
9	筑波大学	3	7	3	20	26	-6	12
10	順天堂大学	3	8	2	15	20	-5	11
11	東京農業大学	2	8	3	9	30	-21	9
12	専修大学	1	8	4	13	33	-20	7

得点ランキング

- 9ゴール 渡邊千真(早大)
- 7ゴール 巻佑樹(駒大)
- 兵藤慎剛(早大)
- 6ゴール 小川佳純(明大)
- 5ゴール 難波宏明(流経大)
- 菊岡拓朗(法大)
- 他4名

アシストランキング

- 6アシスト 巻佑樹(駒大)
- 平木良樹(流経大)
- 本田拓也(法大)
- 4アシスト 東平大佑(駒大)
- 塚本泰史(駒大)
- 山本修斗(早大)
- 他2名

先制点を決めた小林(手前)を祝福する巻。自身でも後半に駄目押し点を奪い勝利に貢献した。

(永田博義撮影)



MAN OF THE MATCH

DF 塚本泰史

「アシストはよかったけど、その他はよくなかった」と自分の出来に満足していなかった塚本だが、3アシストをあげる活躍を見せ、特にCKから2アシスト。今後もセットプレーに強い駒大において、塚本の正確無比なキックが相手の脅威になり、チームを勝利に導くだろう。

駒澤大学4×0専修大学

本調子でないもものの4得点を奪い快勝!

9月9日 14:10 古河市立古河サッカー場	
駒大4 (1位・32)	専大0 (12位・7)
得点者(アシスト)	
【駒】13分:小林竜樹2	
【駒】40分:菊池光将4(塚本泰史2)	
【駒】42分:島田祐輝3(巻佑樹6、塚本泰史3)	
【駒】82分:巻佑樹7(塚本泰史4)	
KOMAZAWA	SENSHU
GK 三栗寛士(4)	GK ₂₁ 半田浩平(3)
DF 塚本泰史(3)	DF ₁₅ 榎木清志(4)
DF 阿部琢久哉(4)	(45分 ₃₂ 佐藤隆紀(3))
DF 廣井友信(4)	DF 鈴木嵩之(1)
DF 筑城和人(4)	DF 渡部博文(1)
MF 菊池光将(3)	DF ₁₈ 石井俊輔(2)
MF ₁₁ 東平大佑(3)	MF 野村直幸(3)
(84分 ₂₃ 小野里銀児(3))	MF ₁₆ 中野洋平(1)
MF ₁₆ 島田祐輝(2)	MF 栗原俊樹(4)
(57分 ₂₄ 鈴木寿毅(2))	FW ₁₀ 池田末廣(4)
MF ₁₈ 小林竜樹(3)	FW ₁₁ 荒田智之(3)
(70分 ₁₂ 高崎寛之(3))	FW ₁₃ 吉田昌史(4)
FW 巻佑樹(4)	(55分 ₂₀ 青崎健(3))
FW ₁₀ 原一樹(4)	(79分 ₃₃ 伊藤卓也(1))
S U B	S U B
GK ₂₁ 山内達夫(3)	GK ₂₈ 高橋初(1)
DF ₂₅ 伊藤龍(1)	DF ₃₄ 萩原章弘(2)
MF ₂₈ 山崎健太(1)	MF 吉田紘史(4)
MF ₁₄ 竹内優(4)	MF ₂₃ 前田陽佑(4)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 源平貴久
警告(C)/退場(S)	
【駒】62分:筑城和人(C)	
【専】50分:鈴木嵩之(C)	
[シュート]20:3[GK]6:8[CK]4:4[PX]0:0[直接FK]13:22[間接FK]13:2[OS]2:1[主審]桜井大介[観衆]約250人	



4発勝利も更なる高みへ

前節の東農大戦。「試合には勝ったものの納得のいく内容ではない」と選手達は口々に語った。開幕戦特有の緊張からか、動きは堅く、何度か訪れた決定的なチャンスも棒に振ってしまった。傍から観ているも確かに良い内容と言える試合ではなかった。

迎えた今節、専大戦。この日は湿度が高く、風もほとんど無く、じめじめとしていて、選手にとっては厳しい天候。加えてゴールネットがちゃんと張られておらず5分遅れてのキックオフとなるアクシデントも発生。それでも、選手達はキックオフ直前の円陣をいつもより長めにとり、気合いを入れて、試合にのぞんだ。

試合は13分に早くも動く。前節途中出場だった小林が、ゴール前の混戦をドリブルで抜け出し、右足を豪快に振り抜き、先制点を奪う。監督の期待に見事答える気合いの入った一撃だった。しかし、その後はDFラインから、前線の巻にロングボールをあずけるも、セカンドボールを拾えずチャン

基本フォーメーション

抑えられたことは満足」と語ったが、「休まないでしっかり守ること」という課題も口にした。また廣井の「一応勝ったが最後駒大のサッカーが出来ていなかった。勝っているだけで試合内容は良くない、菊池の「皆が納得いく駒大らしいサッカーをもっとやれたら良い」というコメントからもうわかるように今節のような試合では選手達はまだまだ満足していない。駒大が目指すサッカーは更なる上の所に

試合後秋田監督は「4点取って0で抑えられたことは満足」と語ったが、「休まないでしっかり守ること」という課題も口にした。また廣井の「一応勝ったが最後駒大のサッカーが出来ていなかった。勝っているだけで試合内容は良くない、菊池の「皆が納得いく駒大らしいサッカーをもっとやれたら良い」というコメントからもうわかるように今節のような試合では選手達はまだまだ満足していない。駒大が目指すサッカーは更なる上の所に

後半も開始早々から攻め立てる。46分に原、47分には東平と決定的なチャンス迎えるが決める事が出来ない。また72分には途中出場の高崎がフリーでヘディングするがこれも決まらない。しかしこんなもやもやとした雰囲気は掻き消したのは、巻だった。82分、塚本のCKを頭で合わせゴールを決めた。試合はこのまま4-0というスコアで終了。

後半も開始早々から攻め立てる。46分に原、47分には東平と決定的なチャンス迎えるが決める事が出来ない。また72分には途中出場の高崎がフリーでヘディングするがこれも決まらない。しかしこんなもやもやとした雰囲気は掻き消したのは、巻だった。82分、塚本の右クロス巻を巻が頭で落とし、走り込んできた島田のボレーシュートが決まり3点目を奪い、前半を終える。

後半も開始早々から攻め立てる。46分に原、47分には東平と決定的なチャンス迎えるが決める事が出来ない。また72分には途中出場の高崎がフリーでヘディングするがこれも決まらない。しかしこんなもやもやとした雰囲気は掻き消したのは、巻だった。82分、塚本の右クロス巻を巻が頭で落とし、走り込んできた島田のボレーシュートが決まり3点目を奪い、前半を終える。

(中野成博)

上記データは全て左側の数字が駒澤